

エンタイビオ皮下注を使用中の患者さんへ

海外旅行のしおり



TRAVEL PASSPORT

監修：千葉大学医学部附属病院

診療教授・内視鏡センター長 加藤順 先生

もくじ



- 1 エンタイビオ皮下注を海外旅行で使用する際、
特別に用意するものはありますか? p.3
- 2 エンタイビオを海外旅行に持参する際、
必要な書類はありますか? p.4
- 3 潰瘍性大腸炎またはクローン病の治療にいつも使用している
薬以外に、用意したほうがよい薬はありますか? p.5
- 4 海外へ持ち込む際に注意が必要な
薬はありますか? p.6
- 5 海外旅行保険には入ったほうがよいですか? p.7
- 6 保険証券は持ち歩く必要がありますか? p.8
- 7 海外旅行に先立って受ける必要のある
予防接種はありますか? p.9
- 8 避けたほうがよい旅行先はありますか? p.11
- 9 宿泊施設を選ぶ際に注意することはありますか? p.12
- 10 薬は何日分、持参すればよいですか? p.13
- 11 エンタイビオは手荷物として
機内に持ち込めますか? p.14
- 12 エンタイビオを機内に持ち込むには
どうすればよいですか? p.15



- 13 エンタイビオを機内に持ち込む際に、
保冷剤は必要ですか? p.16
- 14 時差がある場合、薬をうつタイミングは
どうすればよいですか? p.17
- 15 食事について気をつけることはありますか? p.18
- 16 使用済みのペン、シリンジはどうすればよいですか? p.19
- 17 移動中に急にお腹の具合が悪くなるのが心配です。
旅行前にできる“トイレ対策”はありますか? p.20
- 18 旅行先での生活で、気をつけることはありますか? p.21
- 19 旅行先で病院に行くことになった場合、
注意することはありますか? p.22
- 20 旅行中に使う予定だったエンタイビオが
足りなくなったら、どうすればよいですか? p.23

付録

- エンタイビオ皮下注に関する情報
- 処方箋のコピー貼り付け
- MEMO
- MEDICATION PASSPORT
- エンタイビオによる治療をしながら旅行を楽しむための10の秘訣
- トラベルタイムライン



エンタイビオ皮下注を 海外旅行で使用する際、特別に 用意するものはありますか？

エンタイビオ皮下注(以下、エンタイビオ)の使用方法は、海外でも変わりません。ただし、十分に石鹸で手を洗うことができない環境で使用する可能性がある場合は、除菌ウェットティッシュをご用意ください。

また、エンタイビオは冷蔵できない場合、箱のままで保管し、室温が25℃以下の場合は、7日以内に使用してください。室温が25℃より高く30℃以下の場合は、24時間以内に使用してください。夏場など特に気温が高い時期に旅行する場合には、移動中は保冷剤^{*}を入れた保冷バッグに入れて持ち歩きましょう。(p.16もご参照ください。)

*武田薬品が提供している保冷バッグは、外気温にもよりますが数時間(4~5時間)であれば2~8℃を保つことができます。

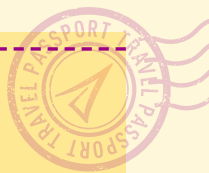
持ち物リスト

- エンタイビオペンまたはシリンジ
(箱ごとお持ちください)
- 配置用マット 消毒用アルコール綿
- ばんそうこう 廃棄バッグ
- 除菌ウェットティッシュ(必要に応じて)
- 保冷バッグ・保冷剤(必要に応じて)





エンタイビオを海外旅行に 持参する際、必要な書類は ありますか？



海外で病院を受診する際には、エンタイビオを使っていることを医師に伝達する必要があります。受診の際には、下記の持ち物リストの書類を持っていきましょう。

医師や薬剤師に尋ねて、処方箋に記載されているすべての薬の名前を英文でも記載しておくとう安心です。

旅行先の国によっては、持ち物リスト以外の特定の文書の提示を求められることがありますので、在日大使館などで事前に確認してください。

持ち物リスト

- 診断名、病歴、薬剤使用歴などに関する主治医の証明書(英文)
- エンタイビオの使用及び冷所保存に関する証明書(英文)(p.30)
- 処方箋のコピー(p.27、28)
- エンタイビオのキットのパフレット
- 海外旅行保険の明細(p.29)
- 保険契約時に渡されるハンドブック(必要に応じて)(p.8)
- エンタイビオ皮下注 自己注射メモリー



潰瘍性大腸炎またはクローン病の 治療にいつも使用している薬以外に、 用意したほうがよい薬はありますか？

早めにかかりつけ医を受診し、旅行先で症状が悪化した場合に備えて、必要な薬について確認しておきましょう。

風邪薬として使用される**非ステロイド性消炎・鎮痛剤**により潰瘍性大腸炎またはクローン病の症状が悪化する場合があります。

したがって、旅行先で風邪をひいてしまったときのために、影響の少ない風邪薬など、いつも使用している治療薬や常備薬（市販薬）を購入しておくといでしょう。

処方された薬の使い方をしっかり理解したうえで、服用方法が書かれた説明書を薬局でもらっておくと便利です。



海外へ持ち込む際に注意が必要な薬はありますか？

薬や注射器の持ち込みについて、旅行先の国によってルールが異なるので、在日大使館などで確認しておくとう安心です。また、医療用麻薬、向精神薬に関しては持ち込みが制限されている国があります。予め各地方厚生(支)局 麻薬取締部または旅行先の国の在日大使館などで確認しておきましょう。

医療用麻薬 には、コデインなど腸の症状のコントロールに用いられる薬剤も含まれます。疾病の治療のために医療用麻薬を使用している人が出入国する場合には、事前に地方厚生(支)局で許可申請手続きが必要です。

向精神薬 とは、睡眠薬、精神安定剤、抗うつ薬、抗てんかん薬、精神刺激薬として処方される薬剤です。海外に持ち込む向精神薬の量が既定[※]を超える場合に、それらの薬が自身の疾病の治療のために必要であることを証明する書類が出入国の際、必要になる場合があります。

※：「麻薬及び向精神薬取締法施行規則-別表第一」に定められている量【詳細は、各地方厚生(支)局 麻薬取締部にお問い合わせください。】



海外旅行保険には 入ったほうがよいですか？

海外では、国内の健康保険が使えないため、病院の治療費や処方箋で指示された薬代が高額になります。

万一に備え、海外旅行保険に加入しておくとう安心です。

ただし、現在かかっている病気で旅行中に治療を受けた場合は、補償の対象外となる保険もあります。保険会社や旅行代理店の窓口で、病名や使用している薬について伝え、補償が可能な保険について相談してください。

現在治療していなくても、経過観察のために定期的に通院していれば告知対象となります。

加入審査に時間がかかる場合もあるため、保険の手続きは早めに済ませたほうがよいでしょう。

窓口では、エンタイビオ皮下注 自己注射メモリーなどを見せて説明するとよいでしょう。



保険証券は持ち歩く必要が ありますか？

保険証券（あるいは保険証券のコピー）は忘れずに持参しましょう。保険証券を忘れてしまった場合、証券番号がわからなくても、名前や生年月日で本人確認し、保険加入があるかどうか調べてもらうこともできますが、証券番号と万一のときの連絡先を控えておくことスムーズに手続きができます（p.29）。契約時に保険証券と一緒に渡されるハンドブックを持っていくと役立ちます。万一のときの現地の連絡先や、現地の連絡先に電話が繋がらなかった場合の日本の連絡先、キャッシュレスで治療を受けられる病院の一覧[※]、トラブル対処法などが参照できるものもあります。インターネットのサイトから、必要な情報を印刷してもよいでしょう。

海外対応のモバイルやパソコンで契約を確認するのであれば、旅行に行く前に該当のページをお気に入り登録したり、必要なアプリをダウンロードしたうえで一度は開いて確認しておくこと安心です。ただし、Wi-Fiやホテルのネット環境が整っていない場所では利用できないので印刷したものを用意しておきましょう。

※キャッシュレスで治療を受ける際、保険会社へ事前連絡が必要な場合があります。



海外旅行に先立って受ける 必要のある予防接種は ありますか？

海外で感染しやすい疾患の予防接種を受けておくことをお勧めしますが、旅行先によって必要な予防接種は異なります。予防接種の種類によっては、潰瘍性大腸炎またはクローン病のある患者さんは注意が必要なものがあります。まずは、主治医に相談してください。

予防接種によっては、2～3回、間隔をあけて接種する場合がありますので、出発の3ヵ月以上前には必要な予防接種を調べておくことをお勧めします。

黄熱については、入国に際して予防接種証明書の提示が求められる国があります。

マラリアは予防接種はありませんが、予防薬があります。マラリアの流行地域へ行く際には、医師にご相談ください。旅行先の感染症の発生状況や、国内で予防接種の可能な施設については、各地方の検疫所にお尋ねください。



エンタビオのような生物学的製剤や免疫抑制剤による治療を受けている患者さんでは、**接種に注意が必要なワクチンもあります**ので、予防接種を受ける施設では**必ず自身の治療薬剤名を伝える**ようにしてください。

— 予防接種の種類と推奨される方 —



予防接種の種類	推奨される方
黄熱	感染リスクのある地域に渡航する人 入国に際して証明書の提示を求める国へ渡航する人
A型肝炎	A型肝炎ウイルスに汚染された飲食物等を介して経口感染(糞口感染)するため、衛生環境が心配な地域に渡航する人
B型肝炎	血液や体液に接触する(受診や性行為など含む)可能性のある人
ポリオ	流行地域に渡航する人 ポリオに対する免疫が低いことが分かっている1975年~77年(昭和50年~52年)生まれの方
狂犬病	動物と直接接触し感染の機会が多い地域、特に医療アクセスがよくない地域へ行く人
日本脳炎	流行地域に長期滞在する人(主に東南アジアでブタを飼っている農村部)
髄膜炎菌	流行地域に渡航する人、留学等に際して証明書の提示を求められる人、学生寮や宿舎での共同生活を予定している人
麻疹風しん	疾患への免疫が不十分な人
破傷風	破傷風菌は世界中の土の中に存在し傷口から感染するため、野外での活動が多い人
インフルエンザ	流行時期または流行地域に渡航する人
ダニ媒介脳炎	流行地域の森林地帯へ渡航する人、草むらや藪など、マダニが多く生息する場所へ行く人、野外活動や屋外での仕事に従事する人
腸チフス	南アジア、東南アジア、アフリカ、カリブ海、中央アメリカおよび南アメリカなどの一般に衛生水準の高くない地域に渡航する人

厚生労働省: 検疫所FORTH https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/useful_vaccination.html 2026/4/10参照

海外の感染症情報に関するWebサイト

検疫所FORTH(厚生労働省)

<https://www.forth.go.jp/index.html>

海外安全ホームページ(外務省)

<https://www.anzen.mofa.go.jp/index.html>



避けたほうが よい旅行先はありますか？

潰瘍性大腸炎またはクローン病の患者さんが絶対に行ってはいけない旅行先はありません。

ただし、飲み水や食品の衛生状態が保障されていない地域や、刺激物を含まない食事が摂りにくいような地域に加え、医療機関のない地域や重篤な感染症が流行している地域などはなるべく避けたほうがよいでしょう。

また、登山やウォータースポーツなど、日頃行っていないような激しい運動を伴うアクティビティーが予定されている場合、参加可能かどうかを主治医とあらかじめ相談しておいたほうがよいでしょう。自分に合った計画を立てて、無理なく楽しむことが大事です。

旅行の予約前に、旅行先に利用可能な医療機関があることを確認するとよいでしょう。

海外の医療施設に関するWebサイト

世界の医療事情(外務省)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>



宿泊施設を選ぶ際に 注意することはありますか？

各部屋にトイレやバスルームがついているかなど、ご自身の病状を考えて、なるべくストレスのかからない条件のそろっている宿泊施設を選択しましょう。

エンタイビオの保存方法は、箱のまま2～8℃の冷蔵庫での保存です。やむを得ず冷蔵保存できないときは、箱のままで保管し、室温が25℃以下の場合は、7日以内に使用してください。室温が25℃より高く30℃以下の場合は、24時間以内に使用してください。

また、エンタイビオは凍結させた場合の品質は保証されておりませんので、宿泊施設の各部屋に冷蔵庫があり、凍結させずに適切な状態で使用できるかどうか、旅行代理店を通じて宿泊施設に確認しておくといよいでしょう。



薬は何日分、 持参すればよいですか？

旅行先でスケジュールの変更が生じて数日帰りが遅くなっても薬が不足することのないように、主治医に相談して適当な数の処方依頼し、旅行の日数を考慮して、予備分としてどのくらい多めに薬を持参するか検討ください。

エンタイビオは2週間に1回の投与のため、旅行期間が短ければ持参する必要はありませんが、万一に備えて1回分は用意しておく安心です。

長期の旅行の際には、エンタイビオの使用期限が十分であるかを確認して持っていきましょう。



- 出発直前まで、エンタイビオは冷蔵庫に入れておくようにしましょう。
- 出発の際に、忘れないようにしましょう。



エンタイビオは手荷物として 機内に持ち込めますか？

エンタイビオの機内への持ち込みについて、事前に各航空会社に確認しましょう。

万一の預け荷物の紛失や遅延を考慮し、預け荷物ではなく手荷物として機内に持ち込んでください。

『診断名、病歴、薬剤使用歴などに関する証明書(英文)』

『エンタイビオを使用している証明書(英文)(p.30)』

『処方箋のコピー(p.27、28)』

『製造元などが明記された医薬品のラベル』

などを携帯しておくといいでしょう。

また、エンタイビオは凍結を避けて保存する必要があります。預け荷物では温度が保障されないため、予備のエンタイビオもすべて手荷物にすることをお勧めします。

エンタイビオ以外の薬も、なるべく機内に持ち込むほうが安心です。

なお、国際線では、液体物は100mL(g)以下の容器に入れ、容量1L以下のジッパー付きの透明なプラスチック製袋に入れる必要がありますが、医療用に使用するものと、医薬品を保冷する目的で同梱されている保冷剤は、例外とされています。



エンタイビオを機内に 持ち込むには どうすればよいですか？

空港の搭乗前の保安検査の際に、自己注射器（針）について申告すれば、機内へ注射針を持ち込み、使用することができます。事前申告や医師の診断書を提示する必要はありません。

ただし、保安検査で書類などが必要な場合もあるので、事前に利用する航空会社に問い合わせておきましょう。

また、旅行先によって医薬品や注射器具の持ち込みのルールが異なる場合があるため、在日大使館などで確認しておきましょう。

薬の内容を明示できるもの（英文表記の処方箋や主治医の証明書など）を携帯しておくこと、保安検査をスムーズに通過することができます。

機内でエンタイビオを使用した場合、使用済みの注射器は、廃棄バッグに入れたうえで、必ず持ち帰りましょう。



エンタビオを機内に 持ち込む際に、 保冷剤は必要ですか？

機内でも保冷剤^{*}があったほうが望ましく、機内の温度が25℃以下の場合は7日以内に、25℃より高く30℃以下の場合は24時間以内に使用してください。ホテルに到着した際にはすぐに冷蔵庫(2～8℃)で保管してください。

国際線で機内に医薬品保冷用の保冷剤(液体物)を持ち込む際には、外装で医薬品保冷用とわかるもの、もしくは、薬剤が冷所保存を必要とする旨が記載された医療機関からの英文表記の証明書(p.30)を用意することをお勧めします。

※武田薬品が提供している保冷バッグは、外気温にもよりますが数時間(4～5時間)であれば2～8℃を保つことができます。

海外への医薬品持ち込みに関するWebサイト

駐日外国公館リスト(外務省)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/link/emblist/index.html>

世界の医療事情(外務省)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>

地方厚生(支)局(厚生労働省)

<https://kouseikyoku.mhlw.go.jp>



時差がある場合、 薬をうつタイミングは どうすればよいですか？

エンタイビオは、毎日投与する薬ではないため、時差の影響は受けにくくなります。

自宅で投与するタイミングに合わせたり、現地の時間帯に合わせて投与するタイミングを変更することも可能ですが旅行前に主治医や薬剤師に投与する時間について相談しておくといよいでしょう。

参考：海外へ持参する内服剤（市販薬など） における服用時間の目安

時差がある国へ出かける際、毎日服用する薬であれば、服用する時間を調整する必要があります。1日3回服用の薬では8時間ごと、1日2回服用の薬は12時間ごとを目安にするとよいでしょう。

ただし、食事の影響を受ける薬や、就寝前に服用する必要がある薬、反対に朝服用する薬など、適宜、調整が必要なものもあります。特に糖尿病や血圧の薬を服用している人は、服用間隔や食事に注意が必要です。

必ず主治医または薬剤師に相談するようにしましょう。



食事について気をつける ことはありますか？

食事の変化は、潰瘍性大腸炎またはクローン病の症状を悪化させるきっかけになる可能性があります。旅行先を決める際に、飲み水や食品の衛生状態が保障されていない地域や、刺激物を含まない食事が摂りにくいような地域は避けたほうがよいでしょう。

また、衛生環境が保障されている国であっても、水道水や屋台の飲食物は避けたほうがよいでしょう。

特に、症状が出ている再燃期は食事に気をつけることが大事です。再燃期の食事は低脂肪・低残渣（繊維質が少ない）が基本です。そのようなメニューが選択できる宿泊施設を選びましょう。



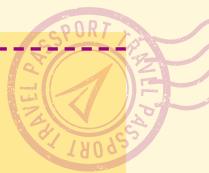
使用済みのペン、シリンジは どうすればよいですか？

使用済みのペン、シリンジは、原則として専用の廃棄バッグに入れて自宅までお持ち帰りください。キャップなど、その他の消耗品は一般ゴミと同様に廃棄してください。

宿泊施設によっては、使用済みのペン、シリンジの処分を受け付けている場合があります。事前に確認しておきましょう。処分が可能であれば、捨てる際に入れる廃棄バッグなどについても確認しましょう。



移動中に急にお腹の具合が
悪くなるのが心配です。
旅行前にできる
“トイレ対策”はありますか？



国にもよりますが、海外では日本ほど公衆トイレが多くなり、また衛生的ではないことがあります。

旅行先のホテルや公共施設など、公共のトイレが使える場所を調べておくと安心です。

飛行機では、なるべくトイレに近い、通路側の座席を予約しましょう。飛行機の予約時に相談しておくと、要望に添った座席を用意してもらえることもあるようです。

医師の診断書が必要になることもありますので、各航空会社へお問い合わせください。

長距離の移動にバスや電車を使う際には、トイレが車内についているか、トイレ休憩が頻繁に予定されているかを旅行会社に確認するとよいでしょう。



旅行先での生活で、 気をつけることはありますか？

生活上の注意点は、普段と変わりません。寝不足にならないように、規則正しい生活を心がけましょう。

特に、時差がある国へ出かける際は、睡眠不足にならないように計画を立ててください。

薬剤の副作用を疑う症状がみられたときの対応については、事前に主治医に相談しておきましょう。

いざというときに受診できる最寄りの医療機関や受診可能な時間を、宿泊施設に問い合わせるなどして、旅行前に予め確認しておく心安心です。

旅行先では、感染症予防のためにうがい、手洗いを実施しましょう。ただし、滞在先によってはうがい、手洗いができない場所も多くあります。除菌ウェットティッシュを持ち歩いたり、ペットボトルの水でこまめにのどを潤すことを心がけてください。



旅行先で病院に行くことになった場合、注意することはありますか？



病院を受診することになった際には、主治医が記入した『診断名、病歴、薬剤使用歴などに関する証明書(英文)』『エンタイビオを使用している証明書(英文) (p.30)』『処方箋のコピー (p.27、28)』

を持参しましょう。

また、併用している薬が英語で書かれていると、現地医師の理解がスムーズです。医療機関や購入した薬の領収書は、必ず保管して、持ち帰りましょう。

(⇒海外旅行保険についてはp.7、8をご参照ください。)



以下の症状が現れたら、がまんせずに病院を受診しましょう。

■過敏反応

- 息苦しい ●じんましんが出る ●皮膚が赤くなる ●発疹が出る
- 血圧が変動する ●心拍数が増える

■感染症

- 発熱 ●咳 ●鼻水

■進行性多巣性白質脳症 (progressive multifocal leukoencephalopathy:PML)

- 体の片側のまひ ●手足のまひ ●手足の運動がうまくできない
- 言葉が出にくい ●目が見えにくい ●飲み込めない ●けいれん
- ぼんやりする ●忘れっぽくなる ●考えがまとまらない

■間質性肺疾患

- 発熱 ●息苦しい ●咳



旅行中に使う予定だった エンタイビオが足りなくなったら、 どうすればよいですか？

エンタイビオを紛失したり、破損するなどして足りなくなった場合は、すぐに主治医に連絡してください。

旅行先で医療機関を受診してエンタイビオを入手すべきか、数日であれば使用する予定日を帰宅後まで遅らせるかなど、対応について相談しましょう。



海外旅行に関する不安は解消されましたか？

この他にも不明な点がありましたら、
主治医または薬剤師にご相談ください。

各国の規制や航空会社のルールなど、
最新情報については、
関係機関にお問い合わせください。

医療機関名・連絡先

主治医

Have a nice trip!



付録 エンタイビオ皮下注に関する情報

- エンタイビオは、成人の中等症から重症の潰瘍性大腸炎またはクローン病の治療に使用されます。
- エンタイビオは、ペンまたはシリンジを用いて皮下注射により投与します。
- エンタイビオペンを用いた1回分の投与に必要なものは、エンタイビオペン1本、配置用マット、消毒用アルコール綿、ばんそうこう、廃棄バッグです。
- エンタイビオシリンジを用いた1回分の投与に必要なものは、エンタイビオシリンジ1本、配置用マット、消毒用アルコール綿、ばんそうこう、廃棄バッグです。
- 必要なエンタイビオの本数は、旅行期間によって変わります。
- エンタイビオは、箱のまま2℃から8℃の冷蔵庫で保管してください。
- エンタイビオは、未開封の箱のままで室温が25℃以下の場合、7日以内に使用してください。室温が25℃より高く30℃以下の場合、24時間以内に使用してください。

Entyvio SC's Information



Entyvio is used for treatment of adults with moderate to severe ulcerative colitis (UC) or Crohn's disease (CD).

Entyvio SC is administered by subcutaneous injection via Pen or Syringe.

The materials required for the administration of one dose using an Entyvio Pen are one single-dose prefilled pen/autoinjector syringe, one injection preparation mat, one alcohol pad, one sticking plaster, and a disposal bag.

The materials required for the administration of one dose using an Entyvio Syringe are one single-dose prefilled syringe, one injection preparation mat, one alcohol pad, one sticking plaster, and a disposal bag.

The number of doses required depends on the length of travel.

Entyvio SC must be stored in its box and refrigerated (36-46°F/2-8°C).

Entyvio SC must be used within 7 days if it is stored at room temperature of $\leq 77^{\circ}\text{F}$ (25°C) in its unopened box and within 24 h if room temperature is $> 77^{\circ}\text{F}$ (25°C) and $\leq 86^{\circ}\text{F}$ (30°C).

処方箋のコピーを貼り付けてください



MEMO

氏名

生年月日（西暦）

主治医

氏名

TEL

FAX

E-Mail

家族・友人

氏名

TEL

E-Mail

氏名

TEL

E-Mail

氏名

TEL

E-Mail

海外旅行保険 証券番号

連絡先

右ページは、あなたが旅行先でエンタイビオを使用する必要があること、エンタイビオが潰瘍性大腸炎またはクローン病の治療薬で、冷所に保存する必要があることの証明書になります。あなたのお名前を**英語**で記入し、主治医から連絡先、サイン、日付を**英語**で記入してもらいましょう。

MEDICATION PASSPORT



This is to certify that:

あなたのお名前

Name:

is treated with Entyvio (vedolizumab).

主治医のお名前

Name of doctor:

病院名/住所/電話番号/FAX番号/メールアドレス

Hospital name:
.....

Hospital address:
.....

Contact number : TEL
FAX
.....

E-Mail :

主治医のサイン

Signature:

日付

Date:

Entyvio is used for treatment of adults with moderate to severe ulcerative colitis or Crohn's disease.

Entyvio SC is administered by subcutaneous injection via Pen or Syringe. Entyvio SC must be stored and refrigerated (36-46°F/2-8°C) to its stated shelf life.

エンタイビオによる治療をしながら旅

1

わからないことは
まずは主治医に相談



2

必要な補償のついた
海外旅行保険に加入



3

エンタイビオを入れる
保冷バッグを用意



4

エンタイビオは予備分も
機内持ち込み用の
手荷物に荷造り



5

主治医の連絡先(日中・夜間)、
家族や友人の連絡先をメモ





6

書類を準備

- 診断名、病歴、薬剤使用歴などに関する主治医の証明書(英文)
- エンタイビオの使用及び冷所保存に関する証明書(英文)(p.30)
- 処方箋のコピー(p.27,28)
- エンタイビオのキットのパフレット
- 海外旅行保険の明細(p.29)
- 保険契約時に渡されるハンドブック(必要に応じて)(p.8)
- エンタイビオ皮下注 自己注射メモリー

7

宿泊施設に確認

- 冷蔵庫がエンタイビオの保管に適しているか
- 自己注射のペンまたはシリンジを宿泊施設に捨てられるか



8

いつもの治療薬、 常備薬も多めに準備



9

廃棄バッグを準備

機内でエンタイビオを使う場合は、
廃棄バッグも手荷物に



10

旅行先で薬が不足したら、 すぐに主治医に連絡



トラベルタイムライン

下記は、旅行の大まかなスケジュールです。場合によっ

スタート

6～8週間前

- 旅行を計画・主治医に相談
- 宿泊施設予約
- 飛行機の予約
- 予防接種※
- 海外旅行保険に加入

※必要な予防接種については、旅行の3か月以上前にお調べください。

4週間前

- 主治医に書類を依頼
- 持参する薬の処方依頼



前日～当日

- 日常生活に使用しているものの荷造り
- 薬は手荷物に



飛行機に搭乗

- リラックスしてお過ごしください



旅行先に到着

- 宿泊施設でエンタイビオを冷蔵庫に保管



快適な旅行のためのスケジュール

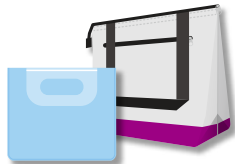


では、さらに準備に時間がかかる可能性もあります。

2週間前

● 持ち物を準備

十分な薬剤
保冷バッグ・保冷剤
廃棄バッグ
すべての必要書類



1週間前

● 日常生活に使用しているもの以外の荷造り



2~3日前

● 空港へ行くためにタクシーを利用する場合は、タクシーの予約



薬を投与

- いつもと同じように薬を使用
- 廃棄処理も忘れずに！



＼ 旅行をお楽しみください！





武田薬品工業株式会社